

2021 年度 事業計画

自 2021 年 4 月 1 日

至 2022 年 3 月 31 日

2021 年 3 月 16 日

一般社団法人 鉄骨技術者教育センター

2021 年度事業計画

I. 基本方針

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、資格認定等事業が計画通り実施できず、試験・講習の延期や講習方法の変更を余儀なくされた。とくに、検査技術者の学科試験と実技試験を約半年延期したことで、実技試験の完了が本年 5 月までずれ込むとともに、登録も本年 8 月 1 日付けとなる。このため、これらの未実施の事業は今年度の事業として実施する。

今年度は、新型コロナウイルスのワクチンの接種も進み、感染が終息に向かうことが期待されるので、資格認定等事業は凡そ例年通りのスケジュールで実施する。ただし、感染の再拡大防止の観点から、試験・講習会場の定員は収容人数の半分以下とするとともに、手指消毒やマスク着用の徹底等、引続き感染防止対策を継続する。また、鉄骨製作管理技術者の更新講習と建築鉄骨検査技術者の継続講習については、本年度も在宅学習を可能とする。

II. 資格認定等事業

1. 鉄骨製作管理技術者

(1) 試験

新規の資格取得希望者を対象に、学科試験を実施する。

※ () 内数字は前年度実績 (以下同じ)

	1 級	2 級
試 験 日	2021 年 10 月 23 日 (土)	
実 施 地	9 会場 (札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡)	
予想受験者数	1,150 (1,046) 名	650 (564) 名

(2) 更新

① 更新講習

2022 年 3 月 31 日で資格取得後 5 年 (更新 1 回目) 及び 10 年 (更新 2 回目) を経過する者を対象に、更新講習会 (半日講習と在宅修了考査・論文) を実施する。

	1 級	2 級
実施期間	2021 年 7 月～9 月	
実 施 地	9 会場 (札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡)	
対象者数	更新 1 回目 ; 706 (893) 名 更新 2 回目 ; 396 (485) 名 合 計 ; 1,102 (1,378) 名	更新 1 回目 ; 540 (602) 名 更新 2 回目 ; 200 (296) 名 合 計 ; 740 (898) 名
予定者数	更新 1 回目 ; 558 (748) 名 更新 2 回目 ; 334 (389) 名 合 計 ; 892 (1,137) 名	更新 1 回目 ; 254 (319) 名 更新 2 回目 ; 118 (142) 名 合 計 ; 372 (461) 名
	・資格取得後、1 回目の更新講習は、講義及び修了考査とする。 ・資格取得後、2 回目の更新講習は、講義及び論文とする。	

② 書類審査

2022 年 3 月 31 日で資格取得後 15 年（更新 3 回目）以上を経過する者を対象に、更新書類審査を実施する。

	1 級	2 級
実施期間	2021 年 7 月～9 月	
対象者数	1,789 (321)名	927 (153)名
予定者数	1,406 (275)名	649 (103)名
	・更新書類審査は実務経歴書による書類審査を基本とするが、当該年度に開催される更新講習（講義のみ）を受講することにより更新書類審査を合格とすることができる。	

(3) 認定登録

試験合格者、更新講習修了者及び書類審査合格者を認定登録し、2022 年 4 月 1 日付けの登録証を発行する。

予定者数	1 級	2 級
新 規	690 (631)名	470 (408)名
更 新	2,298 (1,400)名	1,021 (561)名
更新講習	892 (1,125)名	372 (458)名
書類審査	1,406 (275)名	649 (103)名
合 計	2,988 (2,031)名	1,491 (969)名

2. 建築鉄骨製品検査技術者・建築鉄骨超音波検査技術者

(1) 新規

新規の資格取得希望者を対象に、学科試験及び実技試験を実施する。

①学科試験

※（）内数字は前年度実績、（－）は未定（以下同じ）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
試 験 日	2021 年 6 月 26 日（土）	
実 施 地	8 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、高松、福岡）	7 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、福岡）
予定者数	620 (700)名	240 (330)名

②実技試験

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2021 年 8 月～12 月	2021 年 9 月～11 月
実 施 地	7 会場（札幌、盛岡、川崎、名古屋、大阪、宇多津、福岡）	4 会場（札幌、川崎、大阪、福岡）
予定者数	690 (－)名	205 (－)名

※昨年度計画の未実施分

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2021 年 4 月～5 月	2021 年 4 月
実 施 地	3 会場（川崎、名古屋、福岡）	1 会場（川崎）
予定者数	420 名	106 名

(2) 継続

2022 年 3 月 31 日で資格取得後 5 年を経過する者を対象に、継続講習会（2 時間講習または在宅学習とレポート審査）を実施する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2022 年 2 月	
実 施 地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、広島、宇多津、福岡）	
対象者数	792 (1,178)名	286 (563)名
予定者数	650 (929)名	230 (481)名

(3) 更新

2022 年 3 月 31 日で資格取得後 10 年を経過する者を対象に、更新試験を実施する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2021 年 8 月～12 月	2021 年 9 月～11 月
実 施 地	8 会場（札幌、盛岡、川崎、金沢、 名古屋、大阪、岡山、福岡）	4 会場（川崎、名古屋、 大阪、福岡）
対象者数	980 (941)名	326 (393)名
予定者数	810 (508)名	260 (208)名

(4) 認定登録

実技・更新試験合格者及び継続講習修了者を認定登録し、2022 年 4 月 1 日付けの登録証を発行する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新 規	450 (－)名	130 (－)名
継 続	630 (929)名	230 (481)名
更 新	750 (489)名	240 (196)名
合 計	1,830 (－)名	600 (－)名

※昨年度計画として実施された新規実技試験の合格者で認定登録を受けた者に対する登録証（2021 年 8 月 1 日付け）の発行。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新 規	480 (－)名	150 (－)名